

## 就労継続支援事業所における新型コロナウイルス感染症の影響等について

〔令和2年7月17日  
障害者支援課〕

## 1 趣旨

新型コロナウイルス感染拡大が、障害者の就労継続支援事業の生産活動等に与えている影響について、県内の事業所にアンケート調査を行った結果及び支援等の対応状況を報告する。

【調査内容】平成31年3月、4月と令和2年3月、4月の生産活動収入、利用者数、賃金又は工賃等の比較

【回答状況】就労継続支援A型事業所（38/84事業所、回答率45%）

同B型事業所（3月:154/312事業所、回答率49%）（4月:152/312事業所、回答率49%）

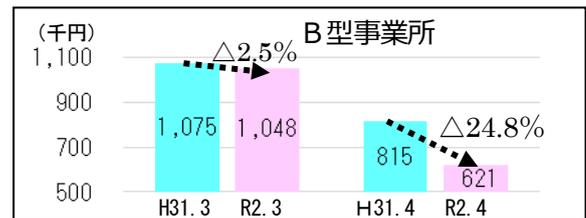
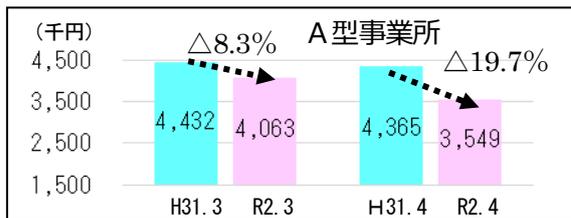
## 2 調査結果

## (1) 概要

新型コロナウイルス感染拡大に起因する経済活動の停滞やイベントの中止等が就労継続支援事業所の生産活動や事業所運営にマイナスの影響を与えており、対前年で比較すると、その傾向は3月より4月において顕著に現れている。

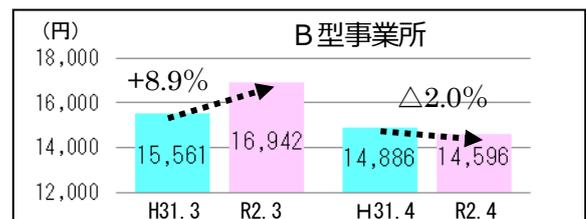
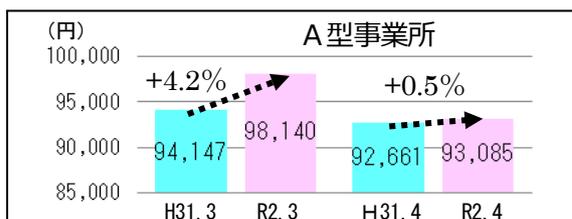
## (2) 1事業所当たりの生産活動収入

3月の対前年同月比はA型が $\Delta 8.3\%$ 、B型が $\Delta 2.5\%$ に対し、4月はA型が $\Delta 19.7\%$ 、B型が $\Delta 24.8\%$ となり、対前年の減少幅が広がっている。



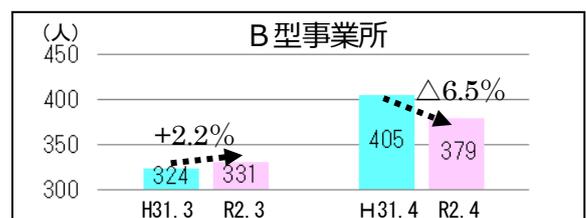
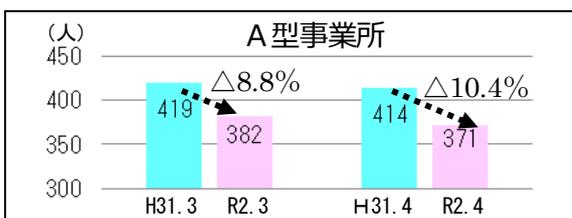
## (3) 利用者の平均賃金（A型）又は平均工賃（B型）

A型の平均賃金は、3月、4月とも対前年比増であるが、4月の増加幅は大きく縮小し、B型の平均工賃は、3月の対前年比増加から4月は減少に転じている。



## (4) 1事業所当たりの利用延べ人数

A型は3月、4月とも対前年比で10%前後減少し、B型は、3月は対前年比増から4月は減少に転じている。



## (5) 事業所の主な困りごと（自由記述）

- 企業からの受注減やイベントの自粛による販売機会の減
- 5月以降、受注額や利用者数等の状況が更に悪化 等

### 3 事業所への支援について

#### (1) 生産活動の維持・拡大に向けた支援

##### ア 共同受注窓口の活性化支援事業

就労継続支援事業の共同受注窓口の受注拡大に向けた営業人員を配置するとともに、ふれ愛プラザのホームページにオンライン販売機能を追加

##### イ 優先調達制度等への協力依頼

県庁内や市町及び関係団体に優先調達や共同発注窓口の制度について周知し協力を依頼

##### ウ 生産活動活性化支援事業

直近の生産活動収入が相当程度減収している就労継続支援事業所（A型・B型）に対し、生産活動の維持や再開、販路拡大や業種転換等に必要な費用等を1事業所当たり最大50万円助成

#### (2) 利用再開に向けた支援

##### ア 就労系障害福祉サービス事業所に対するテレワーク導入支援

在宅就労を推進するため、タブレット等の購入費やテレワーク導入の研修等に要する費用を支援

##### イ 在宅障害者の自宅訪問

サービス利用を控えている障害者等に対する情報提供や相談支援を行うため、相談支援専門員等の専門職が自宅を訪問

#### (3) 感染防止対策への支援

##### 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（障害分）

障害福祉サービス施設・事業所等が、感染症対策を徹底した上で、障害福祉サービス等を提供するために必要となるかかり増し経費を助成

#### (4) 今後の追加的支援

##### ア 3密回避に必要な環境整備の支援

「3つの密」（「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」及び「間近で会話や発声をする密接場面」）を避けてサービス提供を行うために必要な環境整備に係る費用を助成  
※国の二次補正予算を受けた新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（障害分）の新規事業として、9月補正予算で要求予定

##### イ 受注・販売拡大の取組

- ・～コロナに負けるな！広げよう，障害者福祉事業所を応援する輪！～  
（ふれ愛プラザ20周年記念事業）の開催
- ・県合同庁舎，市町庁舎等，公共施設での販売機会の拡大